

(西暦) 2013年 11月 1日

インフルエンザの診断治療のため 当院小児科に受診された患者さんの 診療情報を用いた調査へのご協力をお願い

調査責任者 所属 小児科 職名 小児科部長
氏名 常松 健一郎

このたび当院では、インフルエンザワクチンの効果を調べる目的で、インフルエンザの診断・治療のため小児科に受診された患者さんの診療情報を用いた下記の調査を慶應義塾大学医学部小児科学教室・感染制御センターの協力機関として実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この調査を実施することによる患者さんへの新たな負担(追加の検査や治療など)は一切ありません。患者さんの個人情報保護は保護されます。本調査への協力を望まれないご家族は、その旨申し出て頂くか、後日、下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。協力のないことによる患者さんへの不利益は一切ありません。

【対象となる方】

西暦2013年11月1日以降、小児科でインフルエンザ診断・治療のため受診し、インフルエンザの迅速抗原検査を受けた方

【調査研究名】

小児(科)患者におけるインフルエンザワクチンの効果

【本調査の意義・目的・方法】

インフルエンザはインフルエンザウイルスによっておこる冬のかぜの王様です。インフルエンザにかからないためには予防接種が最も大切と考えられていますが、その予防効果は年齢や流行するインフルエンザウイルスの種類などによって毎年大きく変化します。さらには近年、予防接種の効果自体が低下してきていることが懸念されています。

この調査はインフルエンザワクチンの効果を調べる目的で、日常の診療において患者さんへの特別な介入をせずに行われます。

【協力をお願いする内容】

当院に受診した小児(科)患者さんのうち、インフルエンザが疑われ、診療の中でインフルエンザ迅速抗原検査(綿棒を鼻に入れて、インフルエンザウイルスの有無をチェックする検査)を行った方の検査結果および診療記録を解析いたします。この調査のために追加する検査・治療はありません。

診療記録とは、患者さんの性・年齢・インフルエンザワクチンの接種状況・集団生活の有無、基礎疾患の有無などを意味し、この調査がなくても通常の診療で確認する範囲となります。

当院での調査結果は慶應義塾大学医学部小児科学教室・感染制御センターへ提供され、他の多くの施設での調査結果と比較したり合わせたりしてインフルエンザワクチンの効果を計算します。

研究成果は個人が特定できない形で公表します。その方法は学会発表・論文発表・報道などです。

【本研究の実施期間】

西暦 2013 年 11 月 1 日～10 年間(予定)

【プライバシーの保護について】

- 1) 当院で取り扱う患者さんの個人情報(氏名・患者番号・性別・生年月日)のみです。その他の個人情報(住所・電話番号など)は取り扱いません。
- 2) 調査結果が慶應義塾大学医学部小児科学教室・感染制御センターへ提供される際には、氏名・患者番号が削除され、第三者には個人が特定できないデータ(匿名化データ)となります。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、慶應義塾大学医学部小児科学教室の個人情報管理者が調査終了まで厳重に管理し必要な場合にのみ参照します。調査終了時には、この連結情報も完全に抹消されます。
- 4) なお連結情報は慶應義塾大学医学部小児科学教室のみで管理し、当院を含めた他の調査協力機関等には一切公開されません。

【お問い合わせ】

本調査に関する質問などは、下記へご連絡下さい。

日野市立病院 小児科 常松健一郎

住所:191-0062 東京都日野市多摩平 4-3-1 電話:042-581-2677(代表)

以上